

平成26年度 第1回学校協議会 記録

日時 平成26年7月14日(月)

午後7時～8時30分

会場 同窓会館1F会議室

出席者

(協議会委員) 岡澤潤次 井関義彦 古川広宣 前田澄美江 笹倉千里(欠席)

(学校事務局) 准校長 教頭<事務局長> 主査 首席 記録

〈次第〉

1 准校長挨拶

今年は3年目。26年度学校経営計画及び25年度学校評価などありますが、忌憚のない意見を頂きたい。

2 委員紹介

協議会委員・事務局メンバー自己紹介

3 会長選出

岡澤 潤次氏を選出

4 協議(岡澤氏が議長にて進行)

(1) 平成25年度 学校評価報告について

HPにアップしてあります。

第1回目、学校経営全般について説明をさせていただきました。

高卒編入制度や、地域連携、農園の活動などの意見をまとめました。

第2回目は、学校自己診断アンケートや、授業アンケートの結果を報告しました。

第3回目は、学校評価やまとめなどを載せています。

(2) 平成26年度 学校経営計画について

准校長として最後の年で、内容はそんなに大きく変わっていません。

「3 本年度の取組内容及び自己評価」で新たに加わった事項「ア 特別非常勤講師等の外部講師を積極的に活用し、本物に触れる教育を実施する。」について説明

(3) 本校現状について

今年度の取り組み紹介(首席より)

1) 外部講師(特別非常勤講師等648時間)の活用について

・特別非常勤講師 420時間

・府立学校と企業の連携による人材育成事業 78時間

・高度熟練技能者を活用した技能継承推進事業 150時間

2) 農園を活用した取り組み

3) 「支援学校との交流及び共同学習」の取り組み

- 4) 公開講座について
- 5) 「高校中退・不登校フォローアップ事業」の取り組み
- 6) 教育相談委員会の取り組み

(4) 協議会委員よりの意見・質問

- ・ 650時間の講師時間数の確保と単位修得については、講師をどのように探しているのか？
⇒人探しをしてから申請をする。知人等人間関係を頼りに探している。
- ・ 生徒が喜ぶのであれば大変良いことである。
- ・ 外部講師とは？
⇒それぞれの授業の中で、専門の内容の時に来ていただき、講習等を行っていただく。
- ・ 地元にも料理において技術のある人がいる。活用してはどうか。
- ・ 支援学校との生徒と交流を始めたが、学校選択の経緯は？
⇒支援学校の中でも、外部との交流が積極的なコースがあったので。バスで直接来れるので。
- ・ 交流することで両方がプラスになる。素晴らしいことである。続けてほしい。
- ・ P T Aでも農園を活用して、収穫や調理実習をすることで出席者が増え、活動が盛んになってきている。
⇒P T AのOB会を作れたら。
- ・ 進学については、どんな方面があるか？
⇒文化系の大学が多い。
- ・ 面接練習等に外部講師を活用するとよい。
- ・ 陸上部が全国大会に出場するが、メンバーは
⇒中卒入学の男子3名と高校編入の女性4名
- ・ 高卒編入の女性4名は仕事をしておられるか
⇒みなさん仕事をしておられる。夜間なので来ておられる。
- ・ 元気があり、素晴らしいことだ。こういう制度があることは素晴らしい。
- ・ 今後も生徒のために頑張ってもらいたい。

5 閉会挨拶